

改定計画の基本理念、基本目標等

(現行計画)

(案)

基本理念 市民の意識改革で環境先進都市を目指す

数値目標

	中間目標(R3)	最終目標(R13)
ごみ排出量	636g/人・日	572g/人・日
資源化率	29.3%	37.5%

基本方針

- 1 ごみの排出抑制
- 2 有機性廃棄物の減量・資源化の促進
- 3 資源化の拡充
- 4 環境教育・環境学習の推進
- 5 市民・事業者・行政によるパートナーシップの推進
- 6 周辺環境に配慮した安全・安心な施設の運営

個別計画

- 1 排出抑制・資源化計画
 - (1) ごみに関する情報の周知
 - (2) 自治会や地域との連携
 - (3) 環境教育・環境学習
 - (4) 市民活動への支援
 - (5) 生ごみ分別収集事業
 - (6) 資源化施策の継続及び拡充
 - (7) 事業者への指導
 - (8) 家庭ごみの有料化の検討
 - (9) 粗大ごみ処理手数料の見直し
- 2 収集運搬計画
 - (1) 収集場所
 - (2) 収集運搬体制
- 3 中間処理施設の整備計画
 - (1) 焼却処理施設
 - (2) 不燃・粗大ごみ処理施設
- 4 最終処分計画
 - (1) 最終処分計画
- 5 その他の計画
 - (1) ごみの不法投棄・散乱防止
 - (2) 大規模災害への対応
 - (3) 廃棄物の屋外焼却への対応
 - (4) 適正処理困難物への対応
 - (5) 環境への配慮
 - (6) 関係機関との連携

基本理念 循環型社会の実現を目指す

数値目標

- ・組成分析の結果(資料3)等を踏まえ検討(⇒資料4)。
- ・伊勢原市と目標値の種類、内容の整合を図る。

基本方針

- ・現行の方針を整理し、3と6を追加
- ・SDGsとの関連を記載予定

個別施策

- ・1施設化等の重要課題及びこれへの施策を明示
- ・基本方針との関連を明示

- 1 3Rに基づく廃棄物処理システムの強化
 - 1 発生抑制(Reduce)、再使用促進(Reuse)
 - 2 再生利用(Recycle)
 - 3 事業系ごみの3R及び適正処理の推進
 - 4 新たな3R施策の検討・研究(紙おむつ、製品プラスチックの資源化等)
- 2 安全で安定的かつ合理的な廃棄物処理の推進
 - 1 1施設での安定的な可燃ごみの処理 ※R7未までに実現 ※家庭系可燃ごみ有料化検討について
 - 2 効率的な事業運営
 - 3 ごみ処理手数料の見直し
 - 4 周辺環境に配慮した安全・安心な施設整備 ※不燃・粗大ごみ施設整備
 - 5 周辺環境に配慮した車両の配備
 - 6 処理困難物の適正な処理ルート確保及び不適正処理対策
 - 7 最終処分先の確保
- 3 清潔な生活環境の維持
 - 1 ポイ捨てや不法投棄の未然防止
 - 2 ごみ出しが難しい方への支援
- 4 市民、事業者等多様な主体との連携
 - 1 市民との連携
 - 2 自治会との連携
 - 3 事業者との連携
 - 4 学校・大学等との連携
 - 5 国、県、他自治体等との連携
- 5 情報共有、環境学習の支援

情報共有、気づきや学びの場づくり
- 6 危機管理の推進
 - 1 新型コロナウイルス対応
 - 2 災害対応